

あなたと市議会



「宇宙の桃源郷」 作者／十文字中学校美術部3年 たかだ ひなの 高田 陽菜乃さん

主な内容

全ての子育て世帯への現金一括給付決まる	5
Y8サミット創快横手市議会	2
12月定例議会ピックアップ	4
委員会審査報告	6
一般質問	9
議場へようこそ	14
マニフェスト大賞エリア選抜認定	15

作品のこだわりポイント!

宇宙を泳ぎ回る魚たちを追い求める冒険者がふと見つけた、光の注ぐ憩いの場のイメージです。大木につるされたブランコは、いつまでも失わない子どもの心を表現しています。

増田中

地域とつながり、貢献できる取り組みを進めていくために、地域コーディネーターの拡充と活用を推進を！

ここからは、地域をもっと盛り上げていく取り組みを提案するよ！

藤田萌々香 議長

Y8の強みを生かして...
学校の垣根を超え、力を結集して提案するぞ！

議長

梅津美歩 高橋英佑 糸井遥斗

「つながり」に重点を置いた小・中合同あいさつ運動や認め合い活動で、創快な学校生活を進めました

議長 鶴田琉太郎

横手市内全中学生2034人は、「横手市中学校創快宣言」に基づいたさまざまな取り組みを実践してきた。そして、ついに成果や課題を報告するこの日を迎えた！

議長

どれも素晴らしい提案ですね！提案の実現に向け、前向きに検討していきますね！

市長 教育長

平鹿・横手南・横手明峰中

各中学校で作成する地域の魅力発信PR動画を、市のホームページなどに掲載して活用を！

十文字・横手北・横手清陵学院中

横手愛グリーンディングDAY & 横手愛グリーンアップDAYで「Y8発！横手を元気にキャンペーン」の実施を！

竹原志信 高橋優太 島田果凛

地域に「北中あいさつ頑張ります宣言ポスター」を掲示して明るいあいさつを届け、全校クリーンアップで誇りを表しました

議長

平鹿中

お互いや地域のよいところを褒める「褒め曜日」と「褒めムービー」で、全校生徒のつながりを深めています

議長

横手清陵学院中

互いのよさを認め合う活動で生徒の頑張りを引き出し、「さわやか清陵運動」で地域とのつながりも広げました

議長

中学生議員たちの果敢なる挑戦はこれからも続く

中学生議員の勇姿はYoutube動画で！

やったぜ！ Y8サミットコンプリート！！

秋田県横手市議会

藤井健佑 加藤望花 鶴田琉太郎

コミュニティ・スクールモデル校として、地域との協働を重視した取り組みである「増中創造活動」を行いました

議長

増田中

認め合い、感謝の気持ちを伝える「ふわふわの木」でつながりを強め、校歌「ひとすじの道」を胸に新たな歩みを進めました

議長

横手明峰中

地域の小学校でのあいさつ運動や、他学年と協働する「明峰バディー活動」で、心が温かくなる関わり合いを行っています

議長

市内農家への支援を求める決議案を 全会一致で可決

米価下落並びに燃料費及び資材価格の高騰に伴う影響を受けた市内農家への支援を求める決議

本会議最終日、産業建設常任委員会（菅原正志委員長）より、「米価の著しい下落や、昨今の稀にみる燃料費、資材価格の高騰が市内農家に甚大な影響を与えている。また、昨冬の大雪災害、そして長引くコロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、本市の農家の経営と地域経済を守るため

1. 稲作農家への作付面積に応じた支援金を給付するなどの支援事業
2. 燃料費及び資材価格の高騰に対する支援事業
3. 大雪災害復旧のため果樹農家への薬剤助成30%継続を求める」決議案が提出され、全会一致で可決しました。



一般質問での質疑などを受け、委員会で意見交換を実施

今定例会の一般質問では、米価下落に対する支援や燃料費高騰への対応についての質疑がされ（詳しくは一般質問ページをご覧ください）、また、近隣自治体では米価下落を受け、独自に年度内に支援金を支給する方針が出されました。これらの状況を踏まえ、産業建設常任委員会では、委員間で活発な意見交換を行い、昨冬の大雪での果樹被害に対する支援なども含めた、市独自の支援を行うことを求める決議案を提出することが必要との結論に達しました。

決議後の対応は
当局との協議会実施へ

決議案が可決されたことを受け、議会では即日、市当局に決議文を提出しました。
12月23日には早速、産業建設常任委員会協議会が行われ、今後の支援策などについて担当課との協議を行いました。
市議会は、市内の農家の皆さんが安心して農業に取り組める環境と地域の経済を守るため、これからも全力を尽くします。



米価下落並びに燃料費及び資材価格の高騰に伴う影響を受けた市内農家への支援を求める決議

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるコメ需要の減少に伴う全国的な消費低迷や過剰在庫などの厳しい販売環境を背景に、JA全農あきたが県内の各JAに示した2021年産米の概算金は、あきたこまち1等米（60キロ当たり）で前年より2,000円低い1万600円となり、市内稲作農家に甚大な影響を与えた。
また、昨今の稀に見る燃料費や資材価格の高騰による影響は、施設園芸を行う農家や果樹農家などの経営にとって深刻な問題となっている。
横手市の農業は、水稻を基盤に様々な部門や作物を組み合わせ、県内トップクラスの複合産地としての地位を確立している。農業産出額は6年連続県内トップを誇り、特に、果樹においては全県の7割を占めており、安定した農業経営を営むこと、米価を維持することは極めて重要である。
しかし、このたびの概算金や、燃料費及び資材価格の高騰は、市内農家、特に担い手や大規模な農家への打撃が大きく、地域の農業経営の基盤をも揺るがす状況となっている。ひいてはこれまで推進してきた複合化の取り組みにも大きな影を落とすことも懸念され、農家所得の減少が地域経済に与える影響は非常に大きいと考える。
昨冬の大雪災害、そして長引くコロナ禍という、かつて経験したことのない危機的事態のなかで、本市の農家の経営と地域経済を守るためには、影響を受けた農家への寄り添った支援が必要である。
以上のことから、本市の農家に対する市独自の緊急支援を強く求めるものである。
以上決議する。
令和3年12月15日 横手市議会

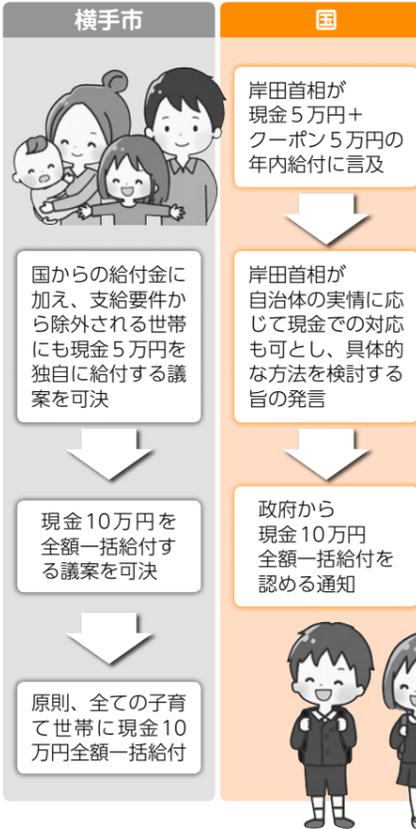
全ての子育て世帯へ臨時特別給付金の給付が決まる

給付決定のプロセスは

国では、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、子育て世帯に対する経済支援策として、現金5万円と5万円相当分のクーポンを給付する臨時特別給付金の実施を決定しました。
その上で、市からは12月8日、国が所得制限で対象外としている世帯にも、現金5万円を独自に給付しようとする補正予算案が上程されました。
議会では、この議案に対し、激論が交わされた末、即日採決し、可決しました。
12月15日、クーポンで給付するとしていた分も現金で給付することを認める通知が国から出されると、同日、現金で全額一括給付するための補正予算案が市から追加で上程されました。
この議案についても、即日採決し可決され、全国にさきがけて、原則として全ての子育て世帯に、臨時特別給付金が現金で全額一括給付されることが決まりました。

激論の末、可決される

子育て世帯への臨時特別給付金に関する国と横手市の一連の対応



児童手当の所得制限を超える世帯に市単独予算での給付は妥当か

問 当市の平均所得を考えると、支給要件から除外されるのはかなり所得水準の高い世帯だ。市独自の給付を検討するにあたってはどのような議論があったのか。

答 市内外からさまざまな意見があった中で、担当部署でも議論した。最終的には市長の判断だが、シンプルに全ての子育て世帯を応援したいという思いだ。

問 この施策で、子育てを応援したいという思いを感じた市民は少ないと考えるがどうか。

答 新型コロナウイルス対策としての給付金は、ひとり親や妊婦への支援などを行っており、今回で7つ目の支援となる。子育てしやすいまちづくりを目指し、さまざまな角度から総合的に支援していく中での施策の一つである。

問 所得水準の高い世帯に対して、市が独自給付することをどう考えるか。

答 国の制度設計に不備があり、不平等な制度となっている。子育て世帯への給付であれば、家庭の状況で差が出るのはおかしいと思っている。また、地域の将来を託すのは子どもたちだというメッセージも込められている。

反対討論、予算修正案の提案がされるも、賛成多数で可決

予算決算委員会厚生分科会 「国が定める基準を上回る世帯に、市の一般財源で穴埋めをすることはいかげなものか」という旨の反対討論がされましたが、採決の結果、起立多数となり、可決すべきものとされました。

予算決算委員会 3名の議員から「コロナ禍、米価下落、原油価格高騰などで苦しんでいる市民は他にも大勢おり、政策をそちらに回すべき」との理由により、市の独自給付にかかる予算、1730万円を減額する修正案が提出されました。採決の結果、起立少数となり、修正案は否決されました。

本会議 「市独自の給付ならば、支給要件から除外された方だけではなく、子育て世帯全てに行うべきではないか」という旨の反対討論がされました。

市の独自給付に関する予算を含む補正予算については、さまざまな議論が繰り広げられました。予算決算委員会、本会議での採決の結果、いずれも起立多数となり、可決されました。

12月定例議会は、11月29日から12月15日までの日程で開催されました。議案審査の中から、特に注目する内容について取り上げます。



会議資料と審査結果はこちらからご覧ください。

産業建設常任委員会

鳥インフルエンザ被災農家の経営再開への支援はどうするの？

鳥インフルエンザ被害への補助
問 被害のあった農家の経営再開に...

手当金や補償が県を通して支給
となるため、今ところは県が主導...

補助金の補助率は3分の2に
だわる必要はないのではないかと...

て再建していくと聞いており、地域
の雇用を守るといふ面からも、今後...

大雪で被災した農家には
いつ補助金が届くの？

農業災害等緊急支援事業
問 昨冬の大雪により被災した農家...

事業の主体はJAとなっている。
1月下旬から2月中には、災害に遭...



災害級の大雪で折れてしまったリンゴの木

利用者を増やすために
どんな取り組みをしているの？

国産材需要開発センター(ウッドイ
プラザの香) 指定管理

利用者の目標値は、どのような
ことを見込んで年々増加する計画を...

コロナ禍が明けて日常生活が戻
ることを想定して計画を立てた。こ...

指導者の後継者不足や、道の駅
さんなどとの連携に課題があること...

市は指定管理者の指導監督を行
う立場にある。ともに知恵を絞りな...

産業建設
常任委員
菅原正志
佐藤誠洋
齋藤光司
加藤勝義
鈴木勝雄
小野正伸
播磨博一
木村清貴

総務文教常任委員会

消防団員数の減少を食い止める
ための処遇改善検討を！

消防団員の定数削減

消防団員の定数については、国
の地方交付税措置の規定があると思...

地方交付税算定の基準では、人
口10万人の市で583人と規定され...

2500人から2400人に定
員が削減されることにより、市が支...

100人の定員削減により、負
担金は200万円ほど減額となる。

消防団員数が少なくなり、分団
や班では運営に苦労している。特に...

のように考えているか。

消防団員の減少を食い止めるた
めに報酬見直しをという総務省の通...



体を張って地域を守る消防団員

小中学校で使っている
タブレット端末の家庭での活用は？

モバイルルーター機器購入
Wi-Fi環境のない家庭にモバ...

これまでの指定管理の実績を
どのように評価しているの？

増田まんが美術館指定管理

指定管理の更新だが、これまで
の実績をどう評価するか。

今年度は修学旅行での来館が1
00校を超え、入館料も目標をクリ...

今年度のモニターリング調
査の結果では悪い評価はなかった。

総務文教
常任委員
高橋和樹
菅原恵悦
大日向香輝
福田誠勉
塩田加藤
塩田加藤
本間利博
井上忠征
高橋聖悟

厚生常任委員会

生活保護世帯はどうして
対象外になっているの？

あったか灯油助成事業

生活保護世帯には灯油代が加
算されているとの理由で、助成対...

生活保護世帯に対しては10月
から4月までの7カ月間、冬期間...

3回目の新型コロナワクチンの
接種方法はどうか変わるの？

新型コロナウィルス感染症対策
3回目の接種でも、集団接種...

原則として集団接種のみの実
施とし、最大で4会場を考えている。

集団接種は、高齢者等には移
動の負担が大きい。これまでのや...

振り分けると、医療機関ごとに
残ったワクチンを有効活用できな...

集団接種の予約はコールセン
ターがインターネットでの申し込...

コールセンターはつながりに
くく、多くの苦情が寄せられてい...



新型コロナワクチン集団接種会場の様子

厚生
常任委員
土田百合子
山形健二
柴田忍
宮川拓也
林一輝
立身万千子
青山豊
佐藤忠久

ココが聞きたい!

10人の議員が市政を問う

一般質問



12月6～8日に一般質問が行われ、10人の議員が市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

■菅原 恵悦 議員
気候変動・温暖化について

■佐藤 誠洋 議員
戦略的な農政の展開についてなど

■柴田 忍 議員
高病原性鳥インフルエンザ発生時の対策はなど

■林 一輝 議員
ヤングケアラーについての対策はなど

■立身万千子 議員
市直営温泉施設を衛生費に移し健康推進事業になど

■井上 忠征 議員
都市計画道路横手中央線についてなど

■菅原 正志 議員
将来の横手市を見据えた政策について

■本間 利博 議員
道路改修の現状についてなど

■鈴木 勝雄 議員
農業振興施策等についてなど

■土田百合子 議員
子宮頸がん予防ワクチンの定期接種についてなど

QRコードを読み取ると、一般質問録画放送をご覧いただけます。

動画再生の手順

- ①スマートフォン、タブレット等でQRコードを読み取る
- ②一般質問のページが開いたらYouTubeを再生する



菅原 恵悦 議員

すがわら けいえつ

Q 気候変動・温暖化の影響への対応は

A 取り組むべき防災対策にしっかりと取り組む

問 菅原首相が出した「2050

答 国の取り組みも視野に入れて地球温暖化対策実行計画などを策定しており、温暖化防止の取り組みを進めていく。



令和3年1月には災害級の積雪を観測し、自衛隊派遣を要請

問 国連は温暖化問題をこのまま放置した場合、あと10年で地球は限界に達するとしている。地球温暖化防止の取り組みに対する決意を示す「気候非常事態宣言」についての考えは。

答 国の取り組みも視野に入れて地球温暖化が進んでいることが、一因として挙げられている。世界規模の大きな課題であるが、市としても取り組むべき防災対策にしっかりと取り組む。

問 世界各地で頻発する深刻な自然災害は「すべての地域で人間が引き起こした気候変動」の影響と指摘されている。温暖化の影響を市はどのように捉えているか。

答 温室効果ガスの濃度の増加により地球温暖化が進んでいることが、一因として挙げられている。世界規模の大きな課題であるが、市としても取り組むべき防災対策にしっかりと取り組む。

問 年温室効果ガス排出実質0宣言」など、脱炭素社会を目指す取り組みが加速しているが、市の考えは。

答 地球温暖化は、市民生活に密着する身近な問題だ。市内小中学校や地域に向いて環境学習会を開催し理解を深めていく。

問 S D G s に対する取り組みは。

答 具体的な取り組みとして「グリーンプラザよこて」で発電した電力を市内小中学校へ供給している。また、太陽光や地中熱の設備を公共施設に導入し、化石燃料の削減に努めている。

賛否が分かれた議案と審議結果

この他の議案は全員賛成により可決されました。
*寿松木孝議長は採決に加わりません。
○：賛成 ●：反対 欠：欠席

案件名	予算(第8号)	令和3年度 予算(第10号)	議決結果		
			原案可決	不採択	
会派・議員名	横手市一般会計補正	横手市一般会計補正	原案可決	不採択	
表決数	賛成 20 反対 4	賛成 22 反対 3	6	6	
市民の会	宮川 拓也	○	○	●	●
	福田 誠	○	○	○	○
	山形 健二	○	○	●	●
	大日向香輝	○	○	●	●
	菅原 正志	○	○	●	●
	齋藤 光司	欠	○	●	●
さきがけ	菅原 恵悦	○	○	●	●
	青山 豊	○	○	○	○
	佐藤 誠洋	○	○	●	●
	寿松木 孝	※	※	※	※
新 政 会	播磨 博一	○	○	●	●
	塩田 勉	○	○	●	●
	高橋 聖悟	○	○	○	○
	柴田 忍	○	○	●	●
創 成 の 会	佐藤 忠久	○	○	●	●
	小野 正伸	○	○	●	●
	高橋 和樹	○	○	●	●
日本共産党	林 一輝	●	○	●	●
	本間 利博	○	○	●	●
公 明 党	加藤 勝義	○	○	●	●
	鈴木 勝雄	●	●	○	○
新 風 の 会	立身万千子	●	●	○	○
	土田百合子	○	○	●	●
実 横 会	井上 忠征	○	○	●	●
	木村 清貴	●	●	○	○
	加藤 雄太	○	○	●	●



増田まんが美術館は、現在の運営法人が引き続き管理運営を行います

議案 PICKUP!

■横手市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の定員が実員数に合わせて削減されます。なお、出勤報酬の支給区分について新たな時間区分を設けることで、処遇改善が図られます。

■公の施設の指定管理

増田まんが美術館、障害者支援施設「ひまわり社」、国産材需要開発センター、農林水産物直売・食材供給施設「農香庵」の指定管理期間終了に伴い、現在の運営法人が引き続き指定管理者に指定されました。

その他、農村公園などについても、現在管理している団体等が引き続き指定管理者に指定されました。

■人事案件

- 教育委員会委員の任命 二階堂 衛氏(増田)
- 公平委員会委員の選任 近江 直人氏(横手)
- 監査委員の選任 柴田 恒宏氏(横手)・飼田 一之氏(横手) 青山 豊氏(議会選出)

■選挙管理委員会委員の選挙を実施し下記の4名が当選しました

- 柴田 潤氏(大森)・小杉 義孝氏(十文字)
- 松浦 利明氏(増田)・塩田 聡氏(横手)

陳情の審査結果

採 択

- ◆安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るため国に意見書提出を求める陳情 (秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子氏)
- ◆精神保健福祉の改善について国に意見書提出を求める陳情 (秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 三浦 耐子氏)
- ◆安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康をまもることを国に求める意見書提出の陳情 (秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 三浦 耐子氏 他1名)
- ◆介護をする人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度への転換を求める国への意見書提出の陳情 (秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美氏)

不採 択

- ◆「核兵器禁止条約」発効へ、国がただちに条約の署名・批准を実施するよう意見書提出を求める陳情 (新日本婦人の会横手支部 支部長 高階 泰子氏)
- ◆早期に核兵器禁止条約に署名、批准し、世界に働きかけることを求める陳情書 (横手市母親連絡会 会長 佐藤 誠子氏)



佐藤 誠洋 議員
さとう まこと



Q 明確な農業ビジョンを定め戦略的な農政を

A 市の総合計画や農業振興計画と目的は共通する

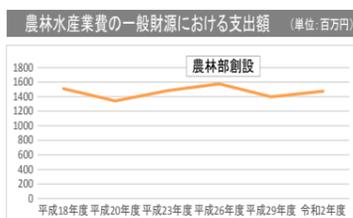
問 コロナ禍後の農業および農村振興に向けた戦略的な農政の推進が重要だ。市民、職員がビジョンを共有する仮称「横手市農業及び農村の振興に関する条例」を制定し、アクションプランを策定、P D C Aを回す仕組みを作っているか。

答 当市では横手市総合計画を策定し、農林業の振興を重点施策に位置付けて取り組んでおり、提案は市の計画と共通すると思われる。

問 地域農業振興、農村持続のため、多様な担い手の育成が重要と考えるが、どのように進めるのか。

答 園芸振興拠点センターを活用して農業技術研修事業を充実させ、農業人材の掘り起こしや育成を進めている。また、新規就農者の営農定着に向け、若手農業者への支援も強化している。今後もきめ細やかな支援を実施していく。

問 雪対策と農業振興の課題解決



平成26年度の農林部創設後も農林水産業費の一般財源支出額は以前と横ばい

のために人材を派遣する公社を設立し、社員として身分を保障する兼業農家の育成をしてはどうか。

答 季節をずらした兼業ができればいいと考えている。実際に行うに当たっての障害などを見極めて検討したい。

●資金の運用で自主財源確保を
問 自主財源確保の手段として、公金を運用してはどうか。

答 今年度から地方債等の債権を購入している。運用はリスクもあり、安全性を最大限に意識しながら検討していきたい。



柴田 忍 議員
しばたしのぶ



Q 高病原性鳥インフルエンザ発生時の対策は

A 県と市が連携した確かな対応を進める

問 高病原性鳥インフルエンザ発生に当たり、初動において県と市の連絡体制に問題、課題はなかったか。

答 県より感染疑い事案発生のお知らせを受けた時点から速やかに関係各機関と協議、調整を図り、県の実施する対策に全面的に協力する体制で臨むことができた。

問 市から発生地域住民への対策説明等、周知は十分であったか。

答 判明当日に市ホームページに掲載するとともに、近隣世帯へのチラシ配布をし、正確な情報をいち早く発信した。可能な限り早く正確な情報を発信することで、市民の不安解消、風評被害の防止に努めた。

問 被害に遭われた生産者や関連業者への経営継続、雇用維持のための支援についての考えは。

答 家畜伝染病予防法に基づき、



高病原性鳥インフルエンザの防疫措置による封じ込めが完了

県を通して補償金が支払われる。補償の対象外となる部分への支援について、県の支援策に市としても協調助成を行う。

●原油価格高騰への対応について
問 原油価格高騰による農業経営への影響について市の対応は。

答 原油価格はあらゆる産業に影響するものであり、市が緊急的な支援策を講じるのは難しい。市としては、冬期の園芸品目への省エネ設備普及などの対策により、原油価格高騰に耐えうる産地体制の確立を目指したい。



林 一輝 議員
はやし かずき



Q ヤングケアラーについての現状は

A 把握出来ていないがアンケートの実施等を検討する

問 介護施設における採用コストの一部助成が必要と思うがどうか。

答 現在のところは考えていない。介護事業所における事務作業量の軽減に向けた先進的、効率的な取り組みを、市として情報提供することで、就労環境の改善につながるよう支援していく。

●市有温泉施設の今後の方針は



幼いきょうだいの世話 家族の介護
今後、ヤングケアラーについての把握、支援が必要

問 今後、市として支援していくべきだと思いがどうか。

答 現在、ヤングケアラーに特化した相談窓口は設置していないが、各種問題について関係機関と連携し、対応している。今後この問題に限らず、子どもが心身ともに健やかに成長していけるよう、福祉・介護・教育・保健・医療などさまざまな分野との連携や、既存相談窓口の周知を進めていく。

問 介護人材不足に対する対策について
問 介護施設における採用コストの一部助成が必要と思うがどうか。
答 現在のところは考えていない。介護事業所における事務作業量の軽減に向けた先進的、効率的な取り組みを、市として情報提供することで、就労環境の改善につながるよう支援していく。

●その他の質問

若者の市内企業への就職、定着、早期離職防止について

問 民営化に向けた方向性と、民間譲渡に至らなかった施設の今後の運営方針はどうか。

答 各施設の最終的な方向性案をまとめ、今年度内に市民の皆さまに提示する。

問 働きながら休暇を過ごすためのワーケーション施設としての利活用についての考えは。

答 あらゆる可能性を排除しないかたちで検討していく。

A 施設の在り方や民間譲渡の是非等を協議する

Q 温泉施設は商工費でなく衛生費として市直営に



立身 万千子 議員
たちま まちこ



古来より健康増進効果があると言われている温泉

問 健康・福祉・交流を目的に、1施設だけでも直営温泉として営業を続けてほしいとの市民の声に応えるべきと考えるがどうか。

答 民営化に取り組むための課題や、将来的な投資コスト等を念頭に置いて協議を進めており、年度内にまとめて報告する予定である。

●避難行動要支援者名簿整備事業の検討状況について
問 重点とされる個別避難計画の策定等はどのように検討するの。

答 令和2年5月に災害対策基本法が改正された。それに基づいて、要支援者の心身の状況を踏まえ、優先度の高い方から個別避難計画の作成に取り組む。

問 P D C Aに基づき、どう議論して課題を出し解決していくのか。

答 要支援者が名簿に登録されていない、地域での避難支援者が不足している等の課題があった。ま

た、防災意識の高揚、自助・共助の啓発や、名簿情報を活用した平時からの見守り活動等が重要視されている。実効性のある避難支援となるよう関係機関と連携していく。

問 「緊急通報体制整備事業」と「ふれあい安心電話事業」の事業効果はどうか。
答 現在のシステムには限界があり、つながりによる見守り体制構築の重要性を確認している。幅広い年代の市民検討委員からの提言を参考に、効果的で持続可能な事業への見直しを図る。



井上忠征議員
いのうえ ちゆうせい

Q 横手中央線の道路整備の進み具合は

A 難航しているが今後も検討を進める

問 現在の進み具合を伺う。
答 重要な路線として認識しているが、地形的にも整備が難しい場所であり、種々の見直しを検討し、JR東日本や県などの関係機関と協議しながら今後も検討を進める。



横手中央線の整備未着手区間
交通量が多く通学路にもなっている

問 雪国の環境整備について
道路除雪後に家の前に積み上げられた雪はどう処理するか。

答 経済的に余裕のないひとり暮らし高齢者世帯などへの支援を実施している。また、狭い道路については、地域で行う除雪活動などについての支援を検討していく。

問 屋根の雪下ろしを依頼する業者を見つけない場合の対応は。

答 業者名簿をホームページに掲載するほか、名簿を全戸配布する。

問 横手市の財政改革について
財政の将来性は。

答 横手市財政計画を策定して進



菅原正志議員
すがわら ただし

Q 市職員に副業を認めて農業支援を考えては

A どのような業務を許可できるか調査研究する

問 農業支援として、市職員をはじめ市民の協力を得られる方法を考えられないか。

答 市職員にどのような業務が兼業として許可できるのか、全国の事例などを調査し研究していく。また、多様な人材が農作業に従事できるよう、JA秋田ふるさとと連携して無料職業紹介所を開設し、求人情報や制度に関する周知を行っている。農作業には技術や知識を必要とする作業もあり、園芸振興拠点センターやJAの各部会を中心とした研修体制を検討する。人手による作業が多いリンゴなどは、県平鹿地域振興局が主導し研修を検討すると聞いている。

問 賑わい創出への具体的な施策は

答 半径70kmに100万人超の商圏が期待できる本市に、人を呼び込み、賑わいを創出する施策は。道路インフラ等の環境整備が



10月にJAビル内にプレオープンしたJA秋田ふるさと無料職業紹介所

進むことで人流や物流のさらなる増加が見込まれる。この好機に合わせ観光振興計画など数多くの施策を展開することで、さらに遠くから多くの人を呼び込むことができるかと確信している。一方で、新公益施設や大型公共施設の整備を進め、新たな魅力を生み出し、賑わい創出を図っていく。

問 地区交流センターの方針は

答 地区交流センターは公民館を前提としない枠組みも検討を。未実施の地区ではそのような考えも検討していきたい。



本間利博議員
ほんま としひろ

Q 地域要望の多い道路改修の現状は

A 優先順位と地域バランスを考慮して進めている

問 全体計画については、地域の関係者から意見を聞いた上で作業

答 今後既存のスキー場とのすみ分けを図りつつ、幼少期より雪に親しみ遊びながら運動する場を提供していきたい。



地域からの要望が多い道路改修等の生活インフラ整備

問 所信説明にある、社会基盤強化についての具体的な内容を伺う。

答 企業誘致推進や観光振興などの経済活動の促進や、市民生活の利便性向上などのため、高速交通体系や道路交通網の整備促進を国・県へ強力に要望していく。

問 社会基盤強化には、私たちの生活に密接な生活インフラ整備予算が含まれるべきと考えるがどうか。

答 多くの市民が利用する道路や幹線道路の整備が市民の全体利益につながる。まずは、全体利益のための社会基盤強化を優先する。

問 冬期間のスポーツ推進について
横手に唯一となった天下森スキー場の整備が必要だ。同時に増田地域の振興を目的とした、スキー場周辺の魅力ある施設整備が必要と思うが、整備計画について伺う。

答 今後既存のスキー場とのすみ分けを図りつつ、幼少期より雪に親しみ遊びながら運動する場を提供していきたい。



鈴木勝雄議員
すずき かつお

Q 米価の下落・再生産の支援について

A 再生産への支援を検討する

問 収益性の高い作物への作付け転換など農業者が意欲的に営農に取り組めるよう改善・拡充したい。



当市の基幹産業である農業を継続するための支援検討を

問 米の再生産価格は60キログラム当たり1万3000円と言われるが、令和3年産米のあきたこまち概算金は、昨年より2千円低い1万6000円となった。コロナ禍の状況から元気を取り戻し、再生産するために支援対策が必要と思われが市の対応は。

答 農家にとって米価下落に伴う収入減は、今後の経営に大きな影響を与えることが懸念される。国の対策効果等を確認し、コロナ禍の米価下落対策として、営農意欲が低下しないよう次期作への支援を検討する。

問 園芸作物の作付け面積、収量の維持および拡大には、市独自の手段、支援対策が必要と思うが、市の考えは。

答 収益性の高い作物への作付け転換など農業者が意欲的に営農に取り組めるよう改善・拡充したい。

問 市の振興作物重点品目の8品目と戦略品目4品目の位置付けは。

答 次期アクションプランでは、戦略4品目を重点8品目に拡大することでJAと協議している。

問 漬物等加工施設整備への支援は

答 市内には漬物等の個人生産者が多くいる。食品衛生法改正に伴う加工施設整備への支援対策は。可能な限り漬物等の製造・加工を継続できるよう、許可基準に見合った施設や共同加工施設の整備支援について、県との連携と併せ、市独自の施策も検討する。

マニフェスト大賞 エリア選抜に認定

日本最大の政策コンテスト「第16回マニフェスト大賞」において、雄物川高校生徒会の皆さんと協働して行っている高校生議会だよりモニターの取り組みが、エリア選抜に認定されました。

このコンテストは、地方創生を推進する地方自治体や市民団体、企業などの取り組みを表彰するものです。

今回は全国から2730件の応募があり、エリア選抜にはそのうち上位165件(うち東北エリアからは13件)が認定されました。

僕たちの意見で読みやすい議会だよりになったでしょ!?

よーし、もっといろいろ提案するぞ~!

私たちの取り組みが評価されてうれしい~!



高校生議会だよりモニターからの意見で、こんなところが変わりました。

- コロナ禍において作品等を展示・発表する場が少なくなってしまった市内中学校美術部生徒の作品を、表紙に掲載することにしました
- より分かりやすい言葉で、読みやすい紙面構成になりました

議会の動き

- 10月
- 1日 全員協議会(行政課題説明会)
 - 19日 新議員説明会
 - 22日 世話人会議
 - 25日 会派代表者会議
 - 28日 会派代表者会議、タブレット端末操作研修会



10/19今回初当選した議員が、議会運営の基本事項などについて説明を受けました

- 11月
- 1日 市議会11月臨時議会、議会運営委員会、広報広聴委員会
 - 10日 Y8サミット創快横手市議会 [P2~3]、広報分科会
 - 12日 厚生常任委員会協議会
 - 15日 産業建設常任委員会協議会、総務文教常任委員会協議会
 - 17日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(行政課題説明会)
 - 22日 会派代表者会議
 - 24日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)、広報分科会
 - 29日 市議会12月定例議会(~12月15日) [P4~14]、議会改革推進会議
- 12月
- 3日 広報分科会
 - 6日 議会運営委員会
 - 7日 全員協議会(議案説明会、行政課題説明会)、議会運営委員会、広報分科会
 - 13日 正副委員長会議、議会運営委員会、全員協議会(行政課題説明会)、ICTプロジェクトチーム会議
 - 14日 広報分科会
 - 15日 議会運営委員会
 - 21日 広報分科会
 - 23日 産業建設常任委員会協議会、広報分科会

「市民と議会の懇談会」申込受付中!

「市民と議会の懇談会」は、議員との意見交換を希望する団体・サークルなどと、テーマを決めて意見交換をするものです。横手の今や未来の“あんなこと”“こんなこと”を議員とじっくり話し合ってみませんか。

お申込みは随時受け付けています。お気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先

横手市議会事務局 〒013-8601 横手市中央町8-2
TEL 0182-32-2535 FAX 0182-32-6539



お気軽にお問い合わせくださいね!

問 対象者(小学校6年生~高校1年生相当の女子)や保護者に予診票を個別に送付する考えは。

答 予診票に加え、ワクチンの有効性や安全性の理解を深めるため、パンフレットなどを同封して全対象者に個別通知をすることで、接種を促進し、接種率向上に努める。

問 積極的勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方への対応は。

答 公費による接種機会の提供等に向けて、対象者や期間等について国で議論されている。今後の国の動向を見ながら対応を検討する。

問 HPV(ヒトパピローマウイルス)検査への助成の考えは。

答 現在は検診項目に含まれていないため、自己負担の助成は行っていない。検診項目に追加された場合は助成について検討する。

問 食品衛生法改正に対する考えは。

答 食品衛生法改正には営業許可、漬物等の製造には営業許可が整備できる支援策を検討する。

問 教育行政について

答 不登校の子どもたちがタブレット端末を持ち帰って、家庭で学習することはできないか。

答 家庭の状況の把握に努め、学校と連携しながら、さらなる活用を推進する準備を進める。

問 山菜の水煮等の製造には営業届出が必要となった。設備投資はハードルが高く、製造を諦めざるを得ないという声も聞かれる、市では支援などを検討しているか。

答 許可基準に見合った加工施設が整備できる支援策を検討する。



厚生労働省が作成したHPVワクチンに関するリーフレット

Q 子宮頸がん予防ワクチン接種勧奨再開への対応は

A 個別通知やホームページで情報提供を行う



土田 百合子 議員

つちだ ゆりこ



議場へようこそ

平鹿地区民生児童委員協議会
雄物川地区民生児童委員協議会



平鹿地区民生児童委員協議会
今野谷 満さん

思っていた以上に細かい内容についての質疑や答弁がされていて、心強く感じました。傍聴してとても良かったです。



雄物川地区民生児童委員協議会
石川 久さん

市民のために真剣に質問しているのを見て、市議会の取り組みを理解でき、身近に感じることができました。

12月6日・7日に平鹿地区民生児童委員協議会から26人の皆さんが、12月8日には雄物川地区民生児童委員協議会から15人の皆さんが、市議会の取り組みを活動の参考とするため、一般質問の傍聴にいらっしやいました。

平鹿地区民生児童委員協議会・雄物川地区民生児童委員協議会の皆さんが市議会を傍聴した様子や感想は、1月10日放送の「もっと教えて!横手市議会」でもご紹介しています。ぜひお聴きください。



* HPV…皮膚や粘膜に感染するウイルスで、100種類以上の型が発見されており、このうちの一部が子宮頸がんの原因となることが分かっている

青春キャンパス色

十文字中学校
美術部

よりよい作品づくりを目指して

十文字中学校美術部は1年生4人、2年生3人、3年生6人の13人で活動しています。普段はそれぞれが描きたいものを制作し、部員一人一人の技術力や表現力を高めるために日々切磋琢磨しています。

部員はみんな仲がよく、互いに絵を褒め合ったり、アドバイスし合ったりしています。美術部は基本的に個人作業の活動が多いのですが、部員同士の仲がよいおかげで、よい空気で活動に取り組むことができます。また、部員一人一人の個性が強く、全員が他の人にはないようなセンスをもっています。繊細な絵が得意な人や、ミステリアスで影のある絵が得意な人など、得意分野もそ

れぞれ違うため、互いに学び合い、リスペクトし合って活動しています。

今は、3年生が活動の第一線から退き、1・2年生中心の活動になりました。さまざまなコンクールに挑戦し、自分たちの力を試してほしいと思います。自分が納得できる作品を作れるように、これからの頑張りに期待しています。

横手市立十文字中学校 美術部 部長 五十嵐 彩乃



十文字中学校 美術部の皆さん



横手がまくらFMで市議会を知ろう!

横手市議会では、市議会の活動や取り組みを議員自らの声で紹介するFM番組「もっと教えて! 横手市議会」を放送しています。

また、各定例会開催時には、市長の所信説明や議員の一般質問の様子を放送しています。

定例会最終日や臨時会当日の夕方には、審議結果もお知らせしています。

1
/ 24
/ 2
/ 14 放送
主な放送内容
新人議員の
井戸端会議



※写真はイメージです

横手がまくらFM
77.4MHz



好評
放送中

もっと教えて! 横手市議会

毎月第2・4月曜日 午前10時40分～
再放送：翌火曜日 午前7時30分～

今回の改選で初当選した議員が「もっと教えて! 横手市議会」に総出演!

当選してから、初めての議案審査を行った12月定例会までを振り返り、議員になった感想や本音、今後の夢や議会の裏側(!?)についてざっくばらんに語り合います。



これまでの放送内容はこちらからお聴きください。

どんな話題が飛び出すか、乞うご期待!

編 集 後 記



あけましておめでとうございます。コロナ禍での窮屈な生活もまもなく2年になろうとしております。今後も感染対策には十分に留意しながらも、アフターコロナに向けて、私たち市議会も皆さまとともに少しずつでも前進していきたいと思っております。本年も何卒宜しくお願い致します。(林 一輝)

広報広聴委員会
広報分科会

分科会長	大日向香輝
副分科会長	林 一輝
委 員	井上 忠征
	加藤 雄太
	青山 豊
	福田 誠
	山形 健二



横手市議会公式 Facebook



いいね! してね (^_^)

